

土砂災害

ハザードマップ



日ごろから近くの山、崖、川などの様子に注意しましょう。いつでも避難できるように準備してください。

☑ こんなときは危険 !

- 長雨や急な大雨のとき
 - 川の水、井戸水、湧き水の量の変化したり、濁りだしたりしたとき
 - 土地に亀裂が生じたとき
- 異常があればすぐに連絡してください。

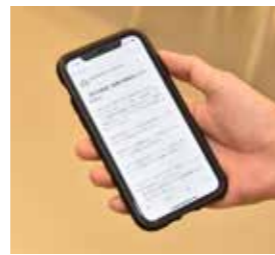
岡河川港湾課 ☎39・2233、
県長岡地域振興局治水課 ☎38・2629



▲川口地域で発生した土砂崩れ（平成29年7月）

☑ ながおかDメールプラスであなたの地域の緊急情報を

土砂災害をはじめとする防災や防犯、クマ出没などの緊急情報を市内12地域ごとにメールで配信します。事前に簡単な登録が必要です。住んでいる地域の情報を取得し、早めの避難につなげましょう。



▲空メールを送信して登録

トピックス

教訓を活かした水害対応訓練



令和元年の台風19号の教訓を踏まえ、今井地区などで水害への対応訓練を行いました。台風の接近で信濃川と太田川の水位が上昇し、浸水被害が発生した想定です。昨年、内水対策として設置した排水ポンプを稼働したほか、現地の確認に初めてドローンを活用。オンラインでアオーレ長岡の災害対策本部などと情報を共有しました。（7月16日）



ロボマスター世界大会

高専・技大を中心とする長岡チームが世界第2位に!

6月25日～30日に開催されたロボマスター世界大会で長岡を拠点に活動する学生チーム「フェニックスロボッツ」が全157チーム中、オンライン部門で第2位に輝きました。

フェニックスロボッツは長岡工業高等専門学校や長岡技術科学大学、新潟大学の約50人からなる学生チーム。地域のものづくり企業などから支援を受けて鍛え上げたロボットの高い技術や、地域を巻き込んだ活動実績が高く評価されました。

岡産業支援課 ☎39・2222

▶フェニックスロボッツの技大メンバー。（左から）小黒司友さん、山岸開さん、齋藤祐功さん



長岡は教育機関と産業界が連携して築き上げたロボット文化が根付くまちです。今後も世界に誇る技術を持つ地元企業から学びながら、世界一を目指します!

台風シーズン

今、備える!

全国的に大雨による洪水や土砂災害の被害が多発しており、十分な警戒が必要です。洪水・土砂災害それぞれのハザードマップなどを使って自宅の危険性や避難行動を確認し、今できる備えを進めましょう。
岡危機管理防災本部 ☎39・2262

洪水

ハザードマップ

※昨年6月に対象世帯へ配布



水害から命を守るために、各家庭で避難行動をもう一度確認しましょう。

☑ 長岡方式の避難行動で命を守る

避難先は市の避難場所だけではありません。事前にしっかり決めておきましょう。

まずはこちらの行動を

自宅の上の階に避難



浸水しない場所へ車などで避難



または

左が困難な場合

ためらわずに市の避難場所へ



ポイント

- ハザードマップで浸水の深さを確認し、自宅の階数から可能な場合に
- 3日分以上の食料や水を備蓄
- 車は浸水しない場所に移動

ポイント

- 浸水前の早期に限る
- 浸水しない知人・親戚宅などを避難先として事前に確保

ポイント

- 避難は車ではなく徒歩で
- 食料や水、感染症対策品（マスク、体温計など）を持参

☑ 防災タイムラインもチェック

水害時の避難行動を時系列にまとめるシート「わが家の防災タイムライン」。7月から中学生以上版を市のホームページで公開しています。避難に必要な準備や行動を、家庭や学校で話し合ひましょう。



▲こちら



★災害時に出るゴミの取り扱いは29ページへ